

緊急署名 沖縄の民意に応じてください

辺野古への基地建設断念と普天間基地の無条件返還を求めます

内閣総理大臣 鳩山由紀夫様

《要請事項》

1. 今こそ、沖縄の民意を最優先してください。
2. 名護市辺野古への「移設計画」を断念してください。
3. 普天間基地の無条件返還を実現してください。

《要請の趣旨》

沖縄の悲願は、一貫して「基地のない平和な島」の実現です。

1995年9月、沖縄で起きた米兵によるレイプ事件に対する島ぐるみの怒りに直面して、日米両政府は96年4月、日米政府は、普天間飛行場の「返還」を合意しました。しかしそれは、沖縄本島東海岸沖に代替基地（海上施設）を新設することでした（同年12月、SACO最終報告）。◆96年9月の沖縄県民投票では、89%で「基地の整理・縮小」を求める意思表示が明確に示されました。◆さらに97年12月の名護市民投票では、過半数が「辺野古への海上へり基地建設NO!」を表明しました。

しかし、前政権は、沖縄の頭越しに辺野古への基地建設を強行しようと、莫大な経済振興資金をもって沖縄の人々を懐柔しようとしてきました。◆それに対し2008年7月、沖縄県議会は「辺野古への新基地建設に反対する」意見書を採択、日本政府、米政府、沖縄県知事に突きつけました。◆09年8月の衆院選では、沖縄県の選挙区・比例区で自民党・公明党が全敗し、◆今年1月24日の名護市長選挙では「辺野古・大浦湾の美しい海に新たな基地は造らせない」と主張した稲嶺進候補が当選しました。

数々の世論調査でも、一貫して沖縄の世論は、「普天間の県外・国外移設」が多数を示してきました。沖縄の民意が「基地の新設」にも「県内移設」にも絶対反対であることは、今や誰の目にも明らかです。

私たちは、鳩山政権が「沖縄の民意」を正面から受け止め、実現すべきことを、鳩山政権に対して強く要請します。

| 名 前 | 住 所 |
|-----|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

辺野古への基地建設を許さない実行委員会 取り扱い団体：【 】

問い合わせ先：090-3910-4140（一坪） Tel/Fax 03-5275-5989（市民のひろば）

<http://www.jca.apc.org/HHK/NoNewBases/NNBJ.html>

署名送付先：東京都千代田区三崎町2-2-13-502 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック 宛

締め切り：第1次集約 2010年3月10日 第2次集約 2010年3月末日